○9 月 27 日(日)調査結果の報告　　天候:くもり 気温:20.1℃

	水温	水質 (PH/COD)	透視度	網キラーで捕れた生き物
地点 1	20.7℃	6.5/6	31.5cm	アメリカザリガニ 3 匹・クロダハゼ 4 匹
地点 2	20.6℃	6.5/6	61.0cm	クロダハゼ 9 匹
地点 3	20.6℃	6.0/6	49.5cm	クロダハゼ 9 匹
地点 4				クロダハゼ 2 匹
地点 5	20.7℃	6.0/6	62.5cm	クロダハゼ 3 匹

※地点 4 は、地形上沼水の採取が不可能なため、生き物のみの調査。
※水質調査は、「誰でもどこでもできる水質測定パックテスト」(共立理化学研究所監修)を使用。COD は低濃度対応のもの。
※透視度計は、高さ 1m でケニス株式会社監修のものを使用。

-考察-
・気温が前回より約 2℃低下したことに伴い、水温は約 5℃低下した。生き物については、気温・水温の低下に伴い、確認出来る個体数が 15 匹減少した。
・9 月は断続的に雨量が多く、雨水は大気中の二酸化炭素を吸収しながら降っており、雨水自体に弱酸性の成分が含まれることから、沼内の PH は全体的に通常より酸性傾向の数値を示していた。COD については、高い数値を示しており引き続き魚類のエサとなる植物プランクトンが多くいる状態が保たれていると思われるが、沼成分が酸性傾向になったことで、植物プランクトンの活動が一部低下したと考えられ全体的に低下傾向だった。透視度についても、降雨の影響もあり、地点ごとで誤差が大きくなる結果となった。